

園の保育目標

- ・心身ともに健康で友達と元気に遊べる子ども
- ・自ら考え、学び、行動できる子ども
- ・のびのびと自己表現できる子ども
- ・思いやりの気持ちを持てる子ども
- ・自分の思いを伝え仲間と協力できる子ども

クラスの保育目標

- ・暑い夏を元気に過ごす。
- ・保育者や友達と一緒に水などに触れ、夏ならではの遊びを楽しむ。

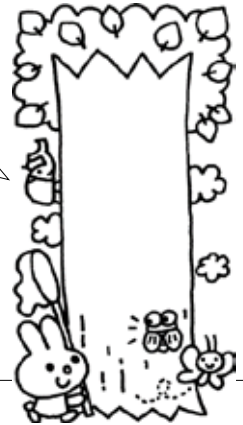
虫さんみーつけた！

雨が多かった7月。数少ない天気の良い日にお散歩へ出かけると大喜びの子どもたち。公園先では、アリやちょうちょ、ダンゴムシなど虫がいっぱいです。「アリさんいたよ」「ちょうちょだよ」というと、じーと見たり、恐る恐る触ってみたいりする子と、一人一人反応はそれぞれです。これからも虫探しを楽しみたいと思います。



お家ごっこ

カラーマットを立てた上に布をかぶせてお家を作って遊びました。ソフト積み木をお家の中に運んで椅子に見立てて遊ぶ子どもたち。友達と一緒に座りおしゃべりをしたり、歌をうたったりととても楽しんでいました。



★プール・水遊びが始まったよ★

ジョウロに水を入れてジャーと体にかけて流して楽しんだり、タライに溜まった水の表面をバチャバチャ叩いたりして顔に水がかかってもへっちゃらな子もいれば、いつも遊んでいる場所と違う雰囲気に泣いてしまう子もいます。ひとりひとりのペースで水に親しみ、夏ならではの遊びを楽しんでいこうと思います。



かみつき、ひっかきについて

子どもに自我が生まれてくると、かみつきやひっかきが始まります。「それ、ぼくの」「ほしいな、それ」「わたし、やだ」…、こういった気持ちがあっても、まだ言葉にはなりません。だから、かみついたり、ひっかいたりします。または、目の前に出てきた誰かの指や顔に、手や口が出ることもあります。

これは成長発達のひとつの特徴です。誰かを傷つけようという気持ちは、子どもにはまったくありません。反対に、「〇〇ちゃん、すき！」「あそぼう！」といった、お友達に対する興味がかみつきやひっかきのような行動として出ることもあります。

私たち保育者は、子ども達が幼いながらも言葉で気持ちを表現できるよう働きかけをしています。お友達のおもちゃを取ろうとし始めたら「使いたいのかな？『かして』って言ってごらん」と伝えますし、お友達の顔の前に手を出したら「どうしたの？」と声をかけて、そのお子さんの気持ちをくみとる努力をし、お子さまの気持ちを受けとめ、言葉にするよう伝えます。かみつきやひっかきが起きた時には適切に処置して、保護者の方にもお伝えします。

また、噛みつきの原因として生え始めた歯がかゆくてかむ、ということもあります。ご家庭でそういった様子が見られ始めたら、園にもお伝えください。私たちも、同様のことが見られましたらお伝えしていきます。